

『さばえ男女共同参画ネットワーク』設立

新しいステージへの二歩

二十一世紀に入り社会情勢が大きく変化してきている中、鯖江市では平成十三年に「男女共同参画プラン」が策定され、平成十五年には「男女共同参画推進条例」が制定されて、男女共同参画社会の実現に向けた画期的な取り組みがスタートしました。

そこで、様々な活動を展開してきた市民活動団体等が、互いの活動を尊重し、情報の交換や研修をすすめる、連携しながら協働する場としての男女共同参画ネットワークの誕生が待たれたのです。

平成十九年五月から検討委員会が設置され準備会としての企画委員会も組織されて、各種団体への加盟依頼をはじめ、規約づくりや事業計画、予算の設定等精力的な推進が図られて参りました。

た結果、三十一団体の加盟を得て、新しい時代にふさわしい「さばえ男女共同参画ネットワーク」が設立されました。

平成二十年五月十八日の設立総会は、みんなの願いやエネルギーが結集した記念すべき日になりました。

男女共同参画社会の実現をめざし、豊かで活力ある鯖江市のまちづくりを力合わせて邁進して参りましょう。



さばえ男女共同参画都市宣言の感動と責務

会長 田中 千恵子



男女共同参画都市宣言の記念事業は、牧野

市長の力強い決意の挨拶から始まりました。

宣言文に謳われている理念は、時代の変化にも対応でき、誰もが行動に移せる理想に満

ちた文言です。会場には中学生を含め約七百名の市民が、声高らかに「さばえ男女共同参画都市」を宣言しました。

戦後、女性に参政権が与えられたことに匹敵する出来事ではないかと、大きな感動を覚えた瞬間でした。平成三年から昨日まで、地道な意識啓発活動を行ってきた「女性ネ

ットワーク」の取り組みが、今、大輪の花を咲かせたように感じました。

今後、市民が手を携えて男女共同参画社会の実現のために、力を尽くさなくてはなりません。私達、男女共同参画ネットワークは、その先頭に立つて責務を果していく決意を新たにしました。

鯖江市男女共同参画都市宣言

市民一人ひとりがいきいきと暮らすために
男(ひと)と女(ひと)がお互いに人権を尊重し
共に語りあい
共に認めあい
共に支えあって
豊かな自然と伝統を守り
鯖江の輝く未来を創ることを決意し
ここに「男女共同参画都市」を宣言します



ネットワークの皆様と「改革から創造へ」

鯖江市長 牧野 百男



男女共同参画ネットワークの皆様におかれましては、昨年五月の設立以来、男女共同参画の推進に対しまして御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、昨年十二月に開催いたしました、内閣府との共催による「男女共同参画都市宣言」記念事業におきまして多大なる御尽力を賜り重ねてお礼申し上げます。この宣言を契機に、男女共同参画ネットワークの皆様とともに、市民意識の高揚と気運の醸成を図ってまいりたいと思います。

鯖江市は、「改革から創造」へ向けてこれまで以上にすべての市民が明るい未来を

宣言都市式典盛大に開催される

内閣府 鯖江市：さばえ男女共同参画ネットワークは十一月三十日に男女共同参画都市宣言記念事業「新たな躍動」と男と女輝くさばえフェスタ2008」を開催し、市民七〇〇人が参加しました。

オープニングで、さばえ男女共同参画ネットワークの愛称募集した「ぱーとなー ねつとさばえ」の表彰や、ありがとメッセージコンクールの入賞作品の発表が行われました。

田中会長の開式のごとく、牧野市長の「性別にかかわらず個性と能力を生かせる男女共同参画社会をつくって

確かなものとして感じられる「参加と協働のまちづくり」の更なる推進を目指しております。

そのためには、女性も男性も社会のいろいろな分野に関心をもつて、積極的に参画していただき、行政から市民へという形ではなく、今後は市民から市民という形で広がりをもせ、そして、意欲と能力をもつ女性と男性が力を合わせることで、活力ある鯖江市の発展につながるものと考えております。今後とも、市民の皆様が安全・安心を実感でき、郷土への誇りや夢と希望を抱けるような施策を展開しておりますので、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

「鯖さん一家」で全国発信

「鯖さん一家」の出演は、「祖父 鯖やき(焼き)へい」「祖母 鯖みそ(味噌)の」「息子 鯖え(江)い太郎」「嫁 鯖え(江)い子」「区長 まぐる」「副区長 かつお」「町内の奥さん ぼろ」という面々で、「男女共同参画都市宣言」を全国発信するのにも最も強力なスタッフを取り揃えました。

身近な生活の中で、男女共同参画社会の問題点を、少しでも前向きに解決できればと思い、日夜鯖さん一家は活躍しているのです。

頑固なやきへいさんは、少しずつみそのさんの手伝いをし、えい太郎さんはせつせとコミ出しと子育ての準備「ワーク・ライフ・バランス」の勉強、まぐる区長とかつお副区長は、これからの地区の在り方を少し前向きに考えだしたようです。

構えるのではなく、普段の生活の中で、男女が少しずつ思いやりをも、こ接する努力をすれば、「男女共同参画都市宣言鯖江」として進んでいけると思っています。

男女共同参画が身近なものに

ネットワークに参加することにより、男女共同参画と一番近い所にいた自分にとって立ち止まって、過去、現在、未来を考える時間を与えてもらったことを感謝しています。

男女共同参画都市宣言記念事業の時の寸劇に参加出来たことは、始めは恥ずかしいな、自分に出来るかなと消極的な思いばかりでしたが終わってみるとまあなんとかなったかなと思えるようになり、良い体験をし、良い思いでになったことに感謝しています。

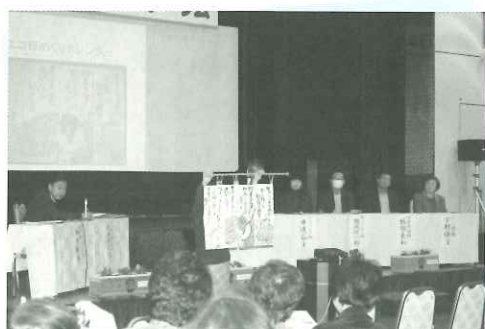
また、地域を学び考える会では、「ごみ問題班」に入り、今まで考えたこともないもつたない、エゴ生活について幅広い考え方ができるようになる等、新しい自分の芽がでてきたのではないかな。

これもネットワークに入ったお陰と思っています。

人権擁護委員会 高野 昭三

女性ネットワークから男女共同参画ネットワークへと拡大発展をして、男女交えての研究会が九月よりスタートしました。研究テーマを、地球

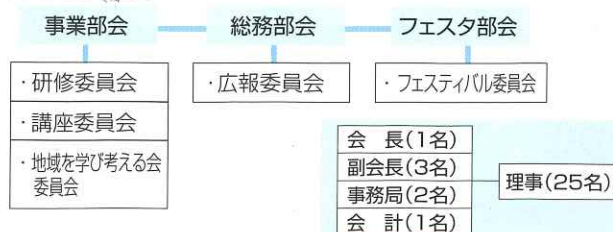
温暖化防止の観点から環境問題をメインにそれぞれジャンルに分かれて、「ゴミ問題」「フライン」「新エネルギー」「地産地消」「レジ袋削減」の五つのグループに分かれて約



全体的に、グループが環境問題をキーワードに研究成果を発表するということで、昨年度までの発表会形式よりさらに発展した形で、今年度はパネルディスカッション形式で発表会を開催しました。それぞれの班の発表は、自分達が

さばえ男女共同参画ネットワーク組織図

部会、委員会名



いきたい」との挨拶で始まりました。

内閣府男女共同参画局推進課塚崎裕子課長から男女共同参画に係る現在の状況と現在の取組みの報告がありました。

続いて牧野市長や、ネットワークの

代表、市内三校の

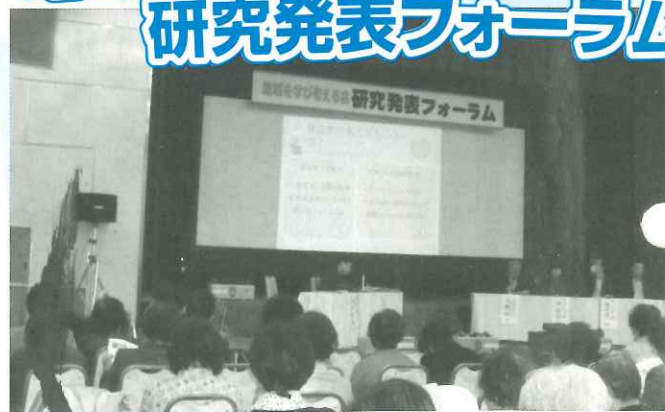


中学生が「男・女がお互いに人権を尊重し、ともに鯖江の輝く未来を創る」と宣言文を声高らかに読み上げました。

作家の落合恵子さんの「いま、共生のとき…女と男が共に生きる社会と題して」講演や、「鯖さんの一家の出来事」の朗読劇で、参加者に意識啓発と男女共同参画社会の実現に向けて決意を新たにしました。

フェスタ恒例となりました加盟団体の活動紹介のパネル展示とクイズラリー！大鍋のふるまい・加盟団体によるバザーなど会場は多くの参加者でにぎわっていました。

地域を学び考える会 研究発表フォーラム



半年間勉強会が続けられた。

市民として何が出来るとかという前向きな提案が多く語られ、鯖江の市民団体の熱気が感じられました。今回各班で提案されたものを私達市民自身が一つずつ実行実現していかなければなりません。

これからこそ、私たちさばえ男女共同参画ネットワークの存在意義を発揮する時ではないでしょうか。

畑中 雅博

用語解説

ワーク・ライフ・バランス

人生の各段階において、男女がともに、仕事、家庭生活、地域生活、自己啓発、そして健康づくりや休養といった人生の様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できる状態のことをいいます。

参加者の声

記念事業に参加された方にアンケートを実施しました。その中からコメントを拾ってみました。

●内閣府の報告は、女性の地位的立場がまだまだ低いことが再認識され女性参画の必要性を感じた。

●記念講演は、記念事業にふさわしい講演であった。

●寸劇は、この寸劇を使って町内や地域で啓発してほしい。

●展示コーナーは、クイズラリーをすることでパネルを読むようになっていたので良かった。

●市民全体の意識向上になった。

●もともと広く市民に理解していただくために啓発する必要があると思った。

●多くの団体が協働していて良かった。

敦賀市との交流会

すでに男女共同参画宣言をされているのが男女共同参画ネットワークとの交流のため敦賀市を訪問しました。

交流会では、市長が作詞作曲されたネットワークソングの披露に続いて意見交換が行われ、寸劇での市民への意識啓発や「港の小さな喫茶店」の運営などの活動をお聞きました。

敦賀市の加入団体は、十六で、男性の代表者が少数とのことでした。女性も、地区役員などを積極的に引き受けて地域での男女共同参画を進めていかなければならないことなどが話しあわれ、短い時間ではありましたが有意義な交流会でした。

笠川 邦夫



平成20年度 さばえ男女共同参画ネットワーク名簿

役職名	団体名	代表者名
会長	鯖江市連合婦人会	田中 千恵子
副会長	鯖江市区長会連合会 ソフィアさばえ 鯖江市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	牧野 陽一 山本 芳恵 袁 輪喜通
理事	鯖江市連合婦人会 鯖江市農村主婦会議 福井たんなんJA女性部 夢みらい館 さばえ利用者連絡協議会 鯖江市愛育会 鯖江市地域活動連絡協議会 退職公務員連盟鯖江支部女性部 鯖江市母子寡婦福祉連合会 福井県民生協同組合第2地区本部 生活学校連絡協議会 鯖江市赤十字奉仕団 近松おどり保存会 鯖江市婦人福祉協議会 鯖江市食生活改善推進員会議 鯖江まちづくりの会 鯖江市やんしき保存協会 鯖江市老人クラブ連合会 鯖江市民生委員児童委員協議会連合会 夢みらいWe 鯖江地区人権擁護委員会 鯖江市壮年グループ連絡協議会 鯖江市PTA連合会 ナルクふくい 鯖江市男女共同参画地域推進委員会 市民協働推進会議	福岡 幹子 稲葉 弥寿美 増永 初美隆 青井 重子 酒井 艶子 熊野 悦子 村上 美智子 大久保 美津子 佐々木 浩和 吉田 加津子 伊坂 信子 五十嵐 はるい 細川 豊子 品川 タエ子 富田 恵美子 大森 良作 佐々木 肇 笠川 邦夫 栗山 祐子 高野 昭三 山本 恵司 服部 義和 土谷 潔子 八田 弘之 畑中 雅博
事務局	鯖江市地域ファミリーサービスクラブ (特)さばえNPOサポート	勝澤 柳子 滝波 信一郎
会計	鯖江市くらしをよくする会	齋藤 啓子

平成20年度の活動

※随時、理事会、役員会および委員会を開催

月日	事業内容	開催場所
5月18日(日)	設立総会	夢みらい館・さばえ
6月21日(土) ～22日(日)	ふくいきらめきフェスティバル2008	福井県生活学習館 (ユニー・アイ ふくい)
7月23日(水)	第1回 男女社会参画講座 演題:「地球温暖化防止… ～もったいない～の心と技術から」 講師:特定非営利活動法人 エコプランふくい 理事 吉川 守秋氏	鯖江市役所
8月 2日(土)	島田市男女共同参画都市宣言のつどい	静岡県島田市
8月21日(木)	理事研修会 つるが市男女共同参画ネットワークとの交流会	敦賀市男女共同参画センター
8月30日(土)	第2回 男女社会参画講座 演題:「福井県におけるワークライフバランスと家事分担」 講師:福井県立大学 准教授 塚本 利幸氏	鯖江市役所
9月24日(水)	第3回 男女社会参画講座 演題:「食の安全安心と男女共同参画」 講師:社団法人 ふくいぐらしの研究所 事務局長 帰山 順子氏	鯖江市健康福祉センター (アイアイさばえ)
10月17日(金) ～18日(土)	日本女性会議2008とやま	富山市
11月 8日(土)	日本まんなか共和国男女共同参画フォーラム ～2008三重～	三重県津市
11月15日(土)	第4回 男女社会参画講座 演題:「男女共同参画で健康体操～健康寿命をのばそう～」 講師:NPO法人生涯体育学習振興機構 東野 テツコ氏	夢みらい館・さばえ
11月30日(日)	鯖江市男女共同参画宣言都市記念事業 「男と女輝くさばえフェスタ2008」	鸛陽会館
2月 3日(火)	地域ネットワーク・リーダー研修会 演題:「相手も自分も活かす関わり方」 講師:オフィス上村 代表 上村 泰子氏	鯖江市役所
2月14日(土)	地域を学び考える会研究発表会	鸛陽会館
3月25日(水)	機関紙「ぱーとなー」創刊号発行	

新米お父さん教室開催

市では、健康課、子育て支援センター、男女参画市民活動課の三課合同により、第3子を妊娠中のご夫婦を対象に「新米お父さん教室」を開催します。

この教室では、二人で行う妊娠体操、お父さんの沐浴練習(赤ちゃんの人形を使ってお風呂に入れる練習)および簡単料理教室などを行います。平成二十二年度も開催予定ですので、詳しくは、男女参画市民活動課までお問い合わせください。



レジ袋有料化協定締結
マイバック持参80%目指す

四月からレジ袋を有料化とする市内のスーパードラッグストアなど十事業者と市さばえ男女共同参画ネットワークとの三者協定の締結式が三月十八日市役所で行われました。

レジ袋の削減に取り組むことにより、市全体での環境問題への意識の高まり、ごみ減量となり、石油資源の削減、地球温暖化防止につながります。

チラシを配布して協力を呼びかけています。



愛称「ぱーとなー ねっとさばえ」

市民皆様が気軽に参加でき、さばえ男女共同参画ネットワークが身近で親しみのある組織に発展していくために愛称を募集し、最優秀賞一点佳作三点を決定しました。最優秀賞「ぱーとなー ねっとさばえ」は、これからの社会活動において、男女が性別を意識することなく良きパートナーとなるように願いをこめて名付けられました。各団体の活動を尊重しながら連携し協働しながら男女共同参画の実現を目指していきます。

編集後記

三十一団体が加入して活動を始めたさばえ男女共同参画ネットワークの情報紙創刊号をお届けします。

ネーミング「ぱーとなー」内容も親しみのある読みやすい紙面作りに広報委員会では知恵を出し合いました。この情報紙「ぱーとなー」が市民の皆様のご理解と協力で、鯖江市男女共同参画の取組みのかけしとなりますことを願っています。

(福岡)